令和4年10月17日

社会福祉法人つつじの福祉会
書面による『はぎの郷　2022年度第3回運営推進会議』議事録

社会福祉法人つつじの福祉会　地域密着型小規模特別養護老人ホーム『はぎの郷　2022年度第3回運営推進会議』の開催（開催予定日：令和4年9月22日）に際し、新型コロナウイルス感染防止を第一優先とした書面による開催としたため、令和4年9月22日必着にて、参加予定の方々に対し書面による報告資料を郵送しました。報告内容に対するご意見・確認事項について、令和4年10月7日を期日として募りましたところ、貴重なご意見・確認事項等をいただきました。

以上の書面報告による開催を明らかにするため、ここに本議事録を作成する。

1　書面報告による『はぎの郷　2022年度第3回運営推進会議』を実施した者の氏名

『はぎの郷』　統括管理者　　宮武　昭彦

2　書面報告による『はぎの郷　2022年度第3回運営推進会議』参加者
・加古川市　福祉部　法人指導課　職員
・地域包括支援センターひらおか　職員
・特別養護老人ホームうおずみ　施設長
・つつじ野地区民生委員
・はぎの郷入居者様のご家族

3　「ご意見や確認事項等」について
加古川市福祉部法人指導課、地域包括支援センターひらおか職員様、入居者様のご家族より3項目につきご意見・ご質問をいただきました。ご意見・ご質問への回答とあわせて添付資料を確認ください。

4　『はぎの郷　2022年度第3回運営推進会議』の開催と閉会

開催日：令和4年9月22日　書面による報告（郵送）をもって開催日とする。
閉会日：令和4年9月22日　（期日：令和4年10月7日）開催日をもって閉会日とみなす。

5　議事録の作成に係る職務を行った者の氏名
『はぎの郷』　統括管理者　宮武　昭彦

「はぎの郷」2022 年度 第 3 回 運営推進会議　「ご意見や確認事項等」

(1)（ご家族より）

ご意見：　12 項、最下段、14 項下から 2 段目の報告で同じ利用者かと思いますが、体温 37.5 度とありましたが問題はないのですか？

回答：　上記の転倒事故報告書は同じ利用者です。就寝前に熱感がある事があり、クーリングを行い、就寝され定期的に巡視、健康観察を行い朝には熱は下がっていました。転倒時も熱がありクーリングをして定期的に巡視、眠りスキャンの確認、健康観察を行いました。利用者の状態に変化があったり、普段と違う事があれば看護スタッフにオンコールを行い状況を報告して、看護スタッフが直接状態を確認、その後、指示をもらい経過観察を行い利用者の様子を看護スタッフに報告して対応しています。

ご意見：　上記の方を含めて転倒により出血、傷等の報告が多く見られましたが、何とか未然に防ぐことができないものかと心配になりました。報告だけでは判断できませんが同じ利用者で同じ時間帯に起きているようにも思えます。

回答：　上記の転倒事故報告書は同じ利用者です。施設職員は利用者の行動意思、行動の制限は出来ませんが、同じ時間帯に転倒が続いたり、他の時間帯にも転倒事故がある事から、ユニット会議を開催し、利用者の行動意思を抑制せずに、未然に転倒事故を防ぐ事ができないかカンファレンスを開催しました。利用者への声掛けや行動洞察力、転倒リスクを減らし利用者の環境を改善。業務中は眠りスキャンを必ず持ち、居室で過ごされている時は眠りスキャンの確認、他巡視を行い、就寝介助後も眠りにつくまでは居室の近くでの見守り、業務面に関しては優先順位の見直しをして、スタッフ全体で共有を行い、利用にとって安全に過ごせる様配慮していきます。

ご意見：　気温の変化が著しい日が続きます。くれぐれも室内の温度設定に気を配っていただきます様、宜しくお願いいたします。(個人差もあると思います。どうか、ていねいに温度設定をお願いします。)

回答：　ありがとうございます。最近の著しい気温の変化により各ユニットごとに「利用者の個別に着るもの」「共有スペースの温度管理」「各居室内の個別の温度管理」と個人差に合わせて配慮していますが、再度、施設長として全職員にＳＮＳ通達手段により、個別の温度管理等の季節の変わり目の配慮意識向上への実施通達をさせていただきました。(10/14 に再通達)
利用者がくれぐれも体調を崩されないよう、介護職・看護職・栄養士・介護支援専門員・総務ともに万全に連携し体調管理を実施してまいります。

（２）（地域包括支援センターより）

ご意見：　今回は服薬事故がなく、とても良かったです。
ヒヤリハットの改善策で１Ｆの改善策が認知症の方への対応としてよく考え、依然とくらべて改善されているので良かったです。これからも、認知症の方への声がけや対応の方法を学び続けてほしいです。

回答：　いつも、ご指導いただきありがとうございます。
毎月行われるユニット会議にて、全職員への服薬マニュアル厳守と同時に「命」の重さを伝えてきました。主任会議においては、私、管理者を含めて各主任の意識において「服薬事故」の重さを改善していかなければ現場は変えれないということも共有して参りました。
今後も研修を重ね続けて安心・安全なサービス提供の向上を目指し続けて参ります。

１Ｆユニットでは、ご指導も頂き、認知症の方への声がけや対応の方法の共有等のカンファレンスをユニット会議にて重ねてまいりました。ユニット主任を中心にしっかりとユニット職員に共有がなされてきたのかと思います。同じく、今後も研修を重ね続けて安心・安全なサービス提供の向上を目指し続けて参ります。

（３）（加古川市役所　福祉部　法人指導課）

ご意見：令和４年９月２２日現在の「入居者情報等」の家族連携について家族会の発足にむけて始動は、現在どのような取り組みをされていますか。

回答：　いつも、ご指導いただきありがとうございます。
以前のコロナ禍前に「はぎの郷」によくご訪問くださる各ユニットごとの家族様にお声がけさせていただき、「はぎの郷」の家族会等の説明、発足（情報交換会）に向けての意見交換としてお集まりいただきました。
その際には「はぎの郷」の家族会等の発足（情報交換会）に向けて賛成とされるご家族と自分の家族や家庭、仕事を日々こなすだけでも大変なので、施設での家族に負担のかかるような「会」の発足等は反対であるという意見も多数ございました。ご家族も高齢という方も多く負担と感じる意見が多かったです。
施設としては家族に負担となりにくい形での「家族連携」を趣旨とした家族会等の発足（情報交換会）に向けて２回目のお集まりをしようとした中でのコロナ情勢となり発足活動は現在も休止となっているのが現状でございます。

統括管理者　宮武　昭彦